

② 行動観察

「グループで相談して与えられた課題をこなす」というのが最も多く見られるパターンです。ルールや順番を決め、みんなで発表をする中で積極性と協調性のバランスを見られます。

〈具体例〉

- ・ビニール袋で作った空を飛ばすものを実際に飛ばして遊ぶ。飛ばす順番を守ることや、線から出ないことなどの約束を守って行う。
- ・プラスチック容器で作った水に浮くものを実際にビニールプールに浮かべて遊ぶ。2つのグループで行う。

(慶應義塾幼稚舎)

③ 製作・描画

「工作をする」「絵を描く」作業ですが、絵や製作物の巧拙よりも、一生懸命取り組んだか、道具はきちんと使えたか、などが評価ポイントになります。

〈具体例〉

5人くらいのグループに分かれ、床の上に線で書いてある4つ切り大の四角の中で、積み木を使って高いビルやホテル、マンションなどを相談して作る。積み木は柔らかいもので、ほかにレンガのように穴が開いている直方体やつないだりできる円筒形や三角形のものもあり、大きさや色が違っている。

(慶應義塾幼稚舎)

④ 運動と指示行動

「運動」はボール投げ、的当て、「けんぱ」、平均台歩行などが多く見られます。指示行動は、行動そのものの早さや上手さよりも「指示されたことをきちんと理解し」「模倣できるか」という観点で評価されます。

⑤ 巧緻性

「巧緻性」というのはあまり耳にしない言葉ですが、手先の器用さです。この分野も保護者の接し方、日々の生活が大きな比重を占めます。

〈具体例〉

- ・雲の絵の線を黒のペンでなぞり、雲の中を青で塗って、はさみで切り取りましょう。
- ・そして、もう1枚の紙にのりで貼りましょう。
- ・点線で描かれたクマの顔を指示されたペンでなぞって、周りのハート(イチヨウ)を切りましょう。

(学習院初等科)

